

1. 概況

西濃を中心とした地域の最近（10月～12月期）の景況を前期（3ヶ月前）と比較した動きで見ると、企業の業況判断指数D I（「好転」した企業割合から「悪化」した企業割合を差し引いた数値）は+7.8と前期の△0.4と比べ8.2ポイント改善しプラス台となった。業況判断D Iを業種別にみると、業況判断D Iがプラス台にあるのが製造業・建設業・不動産業の3業種、±0が小売業、マイナス台が卸売業・サービス業の2業種となっている。

生産・売上D Iは+9.6と前期の△1.2と比べ10.8ポイントの改善、収益D Iは+0.6と前期の△8.2と比べ8.8ポイント改善した。

来期（31年1月～3月期）の業況判断D Iは+4.9と今期と比べ2.9ポイント後退すると予測、生産・売上D Iは+6.7と2.9ポイント後退、収益D Iは△0.2と今期と比べ0.8ポイント悪化すると予測している。

西濃地域の景況天気図

（前期に比べて）

業種	30年10月から12月期の実績		31年1月から3月期の見通し	
	生産・売上	収益	生産・売上	収益
全業種				
製造業				
卸売業				
小売業				
サービス業				
建設業				
不動産業				

〈参考〉

（前年同月に比べて）

業種	30年10月から12月期の実績		31年1月から3月期の見通し	
	生産・売上	収益	生産・売上	収益
全業種				
製造業				
卸売業				
小売業				
サービス業				
建設業				
不動産業				

（増加企業の割合－減少企業の割合）



上記のお天気はD I

で表してあります